

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の詳細で組立てください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

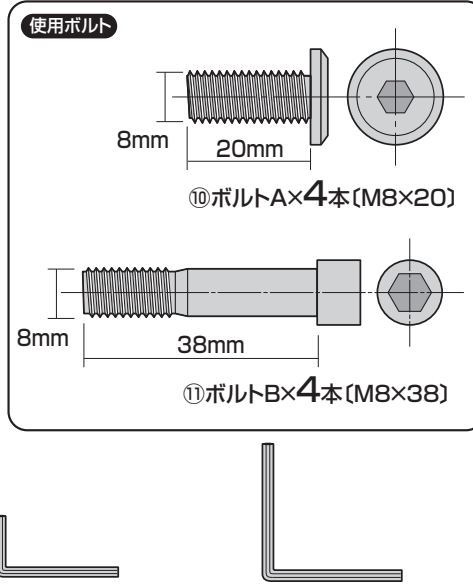
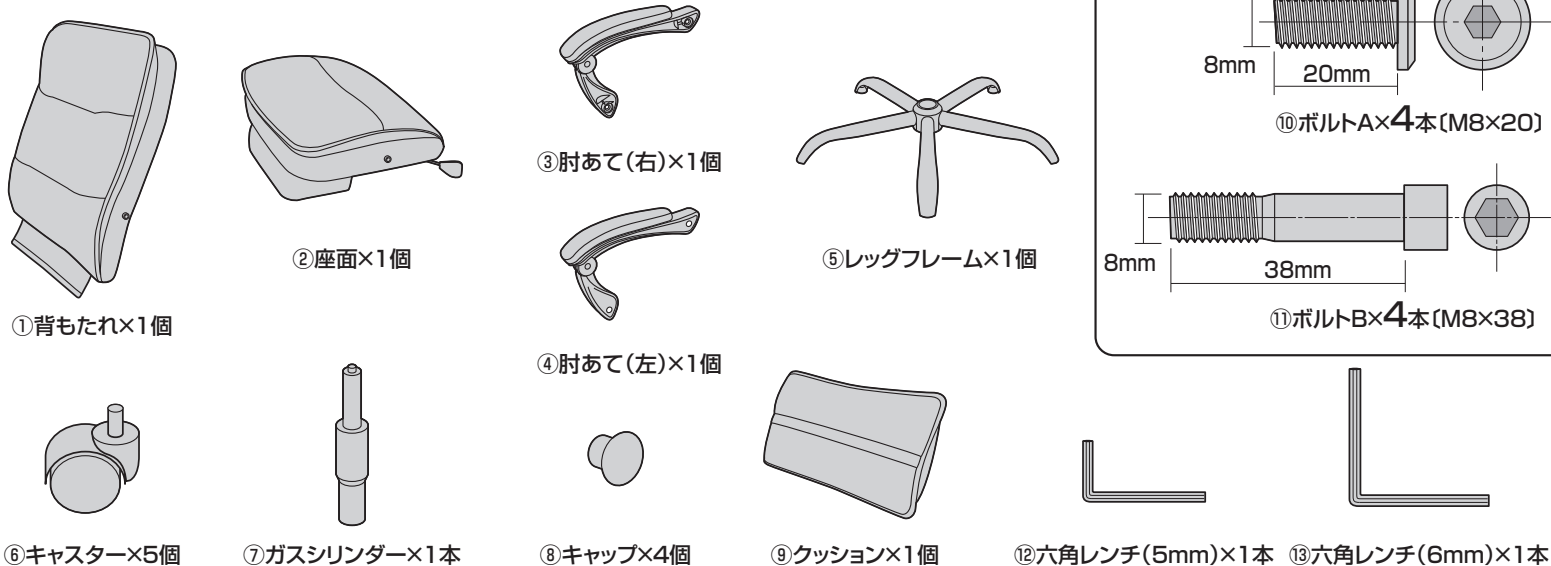
★用意していただくもの……

手袋(組立時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)



**組立て部品**

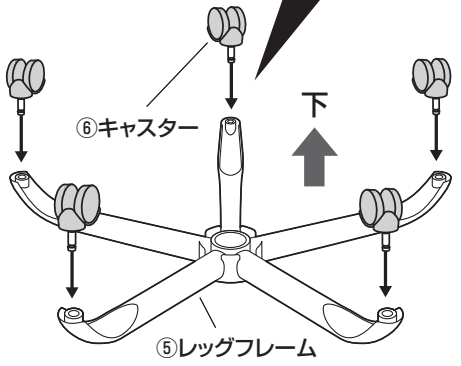
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNC132など)と  
下記の部品番号(①~⑬)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。



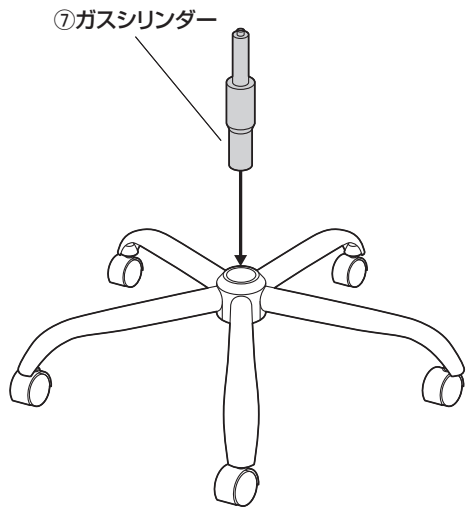
**1** レッグフレームをひっくり返し、  
キャスターを取付けます。

▲注意▲

それぞれのキャスターは全て圧入式です。  
(手ではめこむ)  
奥まできちんと差し込んでください。



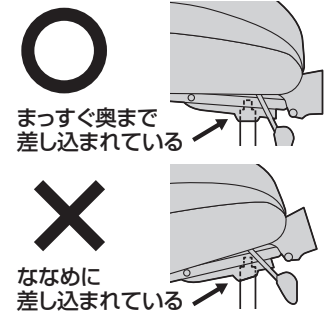
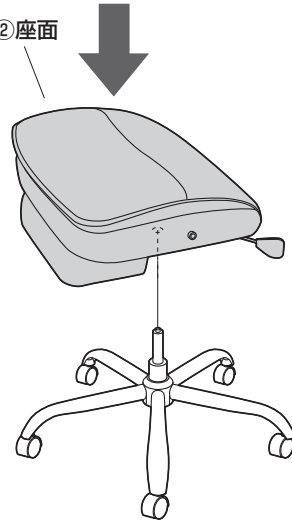
**2** レッグフレームにガスシリンダー  
を差し込みます。



**3** ガスシリンダーに座面を差し込みます。

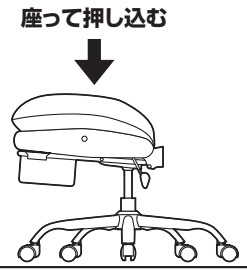
▲注意▲

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥  
まで差し込んでください。座面がな  
なめに差し込まれていると、奥まで  
差し込まれず、ガスシリンダーが正  
常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込  
まれるように、座面にしっかり  
体重をかけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれてい  
ないと、座面の高さ調節ができません。  
※何度か座面に体重をかけてガスシリン  
ダーを確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深  
く差し込まれない場合があります。

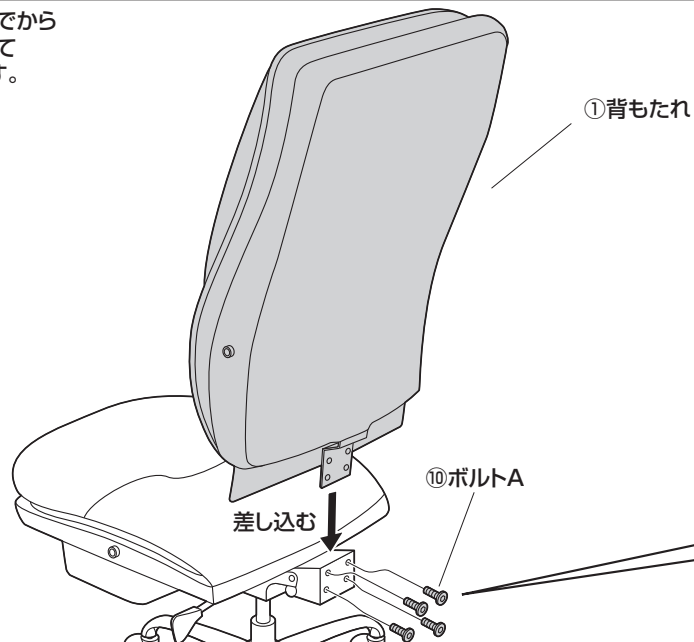


#### 4 座面に背もたれを取付けます。

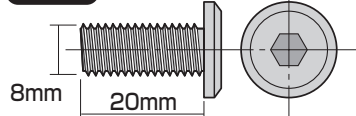
※背もたれの面ファスナーを座面の上に出しておきます。



※背もたれを差し込んでから垂直に近い状態にしてボルトAで固定します。

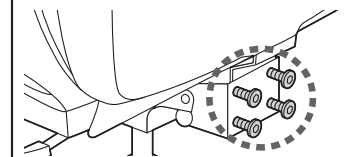


使用ボルト

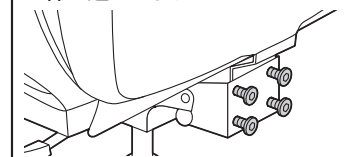


⑩ボルトA (M8×20)

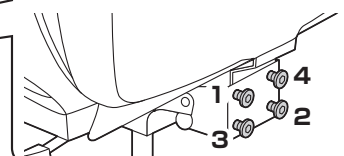
(1)4本のボルトをゆるく付けます。



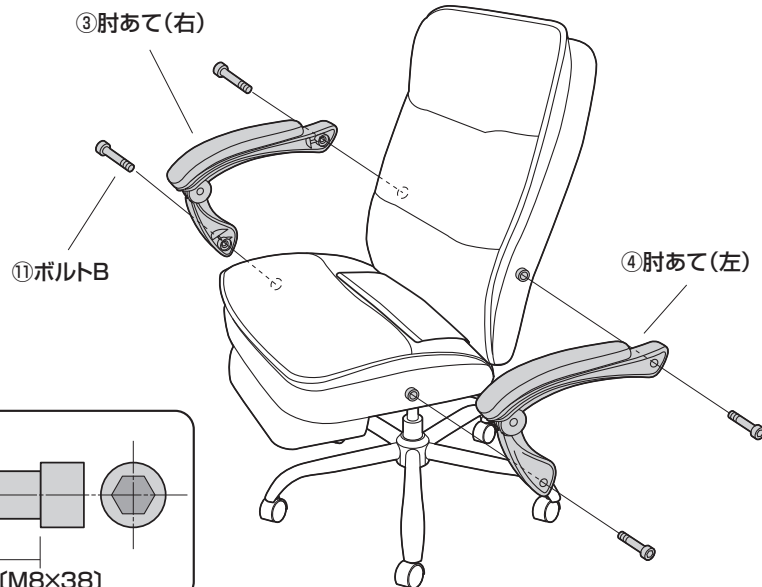
(2)すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



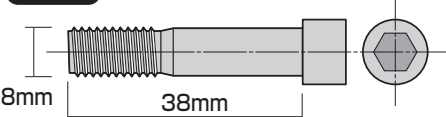
(3)最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



#### 5 肘あてを取付けます。

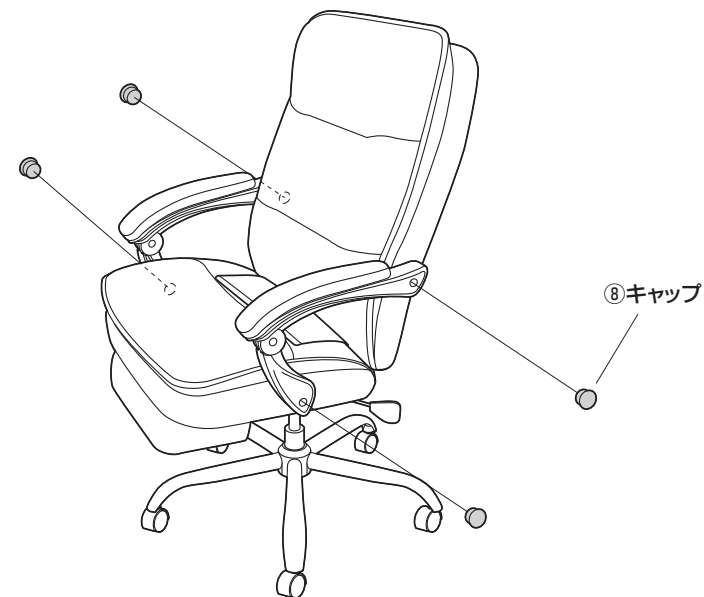


使用ボルト



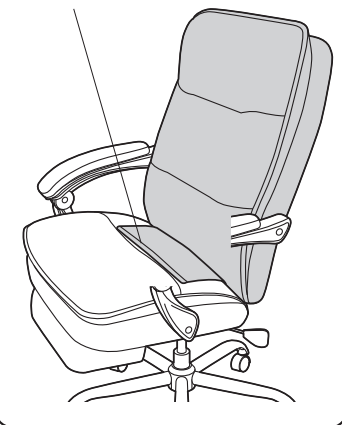
①ボルトB (M8×38)

#### 6 肘あてにキャップを取付けます。

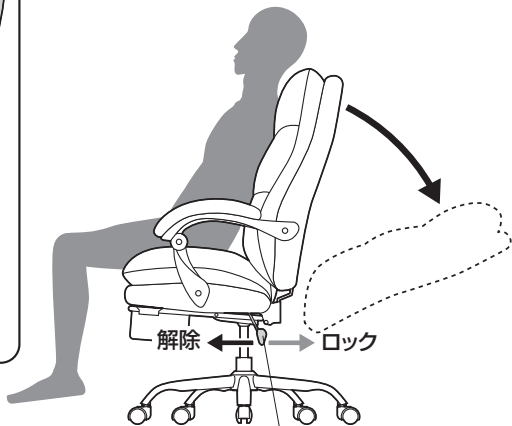


# 7 背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けて、完成です。

手順④で出しておいた背もたれの面ファスナーを右図の手順で座面裏側に取付けます。

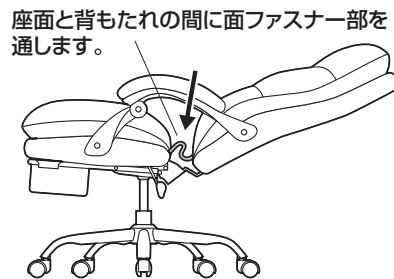


(1)座面に座り、背もたれを倒します。  
※レバーを解除の方向に動かします。  
背もたれを水平近くになるまで倒します。  
レバーをロックの方向に動かして背もたれをロックします。

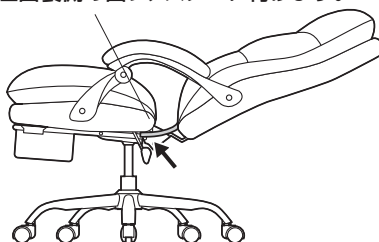


背もたれ角度調節レバー

(2)座面から降り、背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けます。



座面裏側の面ファスナーに付けます。



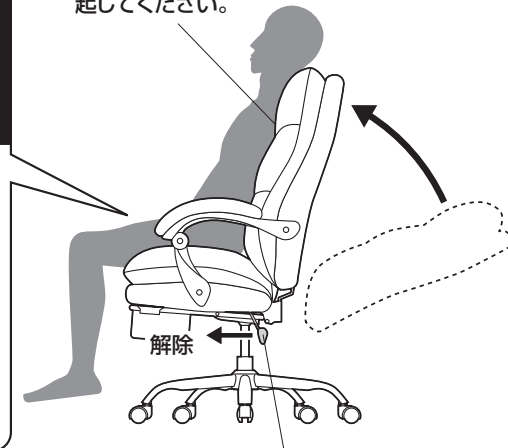
(3)再度座面に座り、背中をつけた状態で背もたれを起します。  
※背もたれに体重をかけずにレバーを解除の方向に動かすと背もたれが起き上がります。

▲注意▲

背中をつけずに背中を起すと、背もたれが勢いよく起き上がり、首や背中を強く打ったり、肘あての可動部分で指などを挟む恐れがあります。



※背もたれに背中をつけて起してください。



背もたれ角度調節レバー

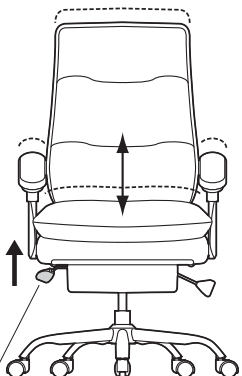
## 各部の調節方法

▲注意▲

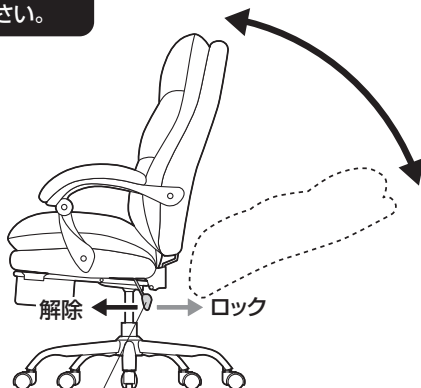
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。  
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

▲注意▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。



レバーを解除の方向に動かすと、背もたれの角度を調節できます。  
レバーをロックの方向に動かすと、任意の角度で固定できます。

## オットマンの使用方法

(1)座面の下からオットマンを引き出します。

▲注意▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



(2)オットマンを180°回転させます。



## クッションの使用方法

お好みに応じて付属のクッションを使用してください。

⑨クッション



## チェアの品質表示

構造部材:座部/合板・スチール 背もたれ部/合板 脚部/スチール 肘あて部/ナイロン  
キャスター部/ナイロン  
張り材:布(ポリエステル) クッション材:ウレタンフォーム

### ▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。